

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年3月7日(2025.3.7)

【公開番号】特開2023-128401(P2023-128401A)

【公開日】令和5年9月14日(2023.9.14)

【年通号数】公開公報(特許)2023-174

【出願番号】特願2022-32728(P2022-32728)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 651

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月27日(2025.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、

小役を含む複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、を備えた遊技機であつて、

前記小役の当選態様として、正解小役および複数種類の不正解小役が重複して当選する複数種類の第1当選態様と、前記不正解小役を含む複数種類の小役が重複して当選する当選態様であつて前記正解小役が含まれない第2当選態様とが存在し、

複数種類の前記第1当選態様のそれぞれについて正解操作態様が設定されており、前記複数のリールのうち特定リールを最初に停止させる操作態様が、いずれの前記第1当選態様においても正解操作態様に設定されておらず、

前記複数のリールのうち前記特定リールとは異なるリールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記第1当選態様が存在するが、前記特定リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記第1当選態様が存在せず、

前記正解操作態様とは異なる操作態様を不正解操作態様とし、

前記リール制御手段が、

内部抽選で前記第1当選態様を得た場合に、前記正解操作態様では、前記正解小役が入賞し、前記特定リールを最初に停止させる前記不正解操作態様では、前記不正解小役が入賞し、前記特定リールとは異なるリールを最初に停止させる前記不正解操作態様では、前記不正解小役が入賞する場合といずれの役も入賞しない場合とが存在するように、停止制御を行い、

内部抽選で前記第2当選態様を得た場合に、前記特定リールを最初に停止させる操作態様と前記特定リールとは異なるリールを最初に停止させる操作態様とで異なる小役が入賞するように、停止制御を行うことを特徴とする遊技機。

30

40

50